

こんにちは 町会です

わがまちのみんなをつなぐコミュニティ
町会・自治会の安全で安心なまちづくり活動

銀座六丁目町会

人形町二丁目
浪花会

佃リバーシティ町会

**町会・自治会活動に
参加しましょう！**

わたしたちのまち中央区は、定住人口が十四年連続で増加しており、まちなぎわいが増す中で、毎日安全で快適に暮らしていくためには、地域で暮らす人々の相互理解や信頼関係の構築が重要となります。その中心的役割を担っているのが町会や自治会です。

町会・自治会は、地域コミュニティの核として、防災・防犯活動や高齢者への声かけなど、日々の暮らしに密着した活動を幅広く行っています。

なかでも、災害や不測の事態に備える防災活動では、小学校などに設置されている防災拠点において「防災拠点運営委員会」を結成し、日ごろから意識を持って隣近所が協力し助け合う態勢づくりに努めています。

本年三月十一日に起きた「東日本大震災」は、広い範囲に渡って地震や津波などによる被害をもたらし、首都圏においても、多くの帰宅困難者が発生しました。中央区では、十九の防災拠点を避難所を開設し、二千人を超える人々を受け入れました。

避難所の開設にあたっては、町会・自治会からも積極的にご参加いただき、多くの避難者の方から感謝の声が寄せられました。

「こんにちは町会です」では、主に町会・自治会に未加入の方を対象に、町会・自治会の活動を少しでも知っていただき、加入・参加へのきっかけとなることを目的としています。

さあ、あなたも町会・自治会の活動に積極的に参加して、快適な地域社会と活力あるコミュニティをともにつくっていきましょう！

東日本大震災への募金活動



毎月恒例の「環境安全パトロール」では、町会の中から三社の企業が輪番制で、放置自転車防止の呼びかけや置き看

橋地域 町会は貴重な地域交流の場

銀座六丁目町会 会長 九鬼悦子さん



銀座六丁目町会は、大正時代に東京府例で誕生した地域組織の衛生組合が母体となり、昭和五年の町名改正時に発足した名実ともに歴史のある町会です。

町会の区域は銀座六丁目の八番から十二番にわたり、有名ブランド店などの商業施設が軒を連ね、町会員の殆どが法人企業という銀座ならではの特徴が見られます。

「銀座六丁目町会の名にちなみ、毎年六月六日に総会を開いています。町会活動は究極の異業種交流会と言えます。普段の仕事では接点の無い方たちが、町会という輪を通じて親しく交流することができると、会長の九鬼さん。」

板設置についての指導を行っています。このパトロールが功を奏し、無秩序な置き看板が減り、街の美観が良くなったと好評です。

また、銀座に海外ブランド店が新規に出店する際などには、周辺の店舗との調和を考慮し、近隣町会と協力して積極的に話し合いを行うこともあります。九鬼さんは、「銀座の歴史は、新しいものを常に取り入れて勢いをつけてきました。何事も臆することなく受け入れていくことが大切ではありませんが、まちの調和を図るためには積極的に話し合い、皆でより良い銀座を目指していきたいと思っています。」と、話し合うことの大切さを語ります。

「銀座らしさ」を守り続ける町会活動

銀座地域は、各町会以外にも全銀座会、銀座通り連合会、各通り会など大小さまざまな組織が存在し、互いに連携しながら活動をしています。また「銀座ルー」と呼ばれる、銀座らしさを踏

まえたまちづくりの指針があることでも有名です。「銀座を訪れる全てのお客様に、安全で快適なひとときを楽しんでいただきたいというのが皆の共通の願いです。」と、九鬼さん。

銀座六丁目町会は、今年の7月に銀座通りで東日本大震災への義援金活動を行うとともに、法人町会員である百貨店の協力により「チャリティ青空市」も開催するなど、社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

「銀座のまちなみも、時代とともに移り変わっていますが、先人たちが『銀座らしさ』をつくり上げ、守り続けてきたからこそ、今の銀座の姿があります。わたしたちも、町会活動を通じて、銀座の歴史と伝統を守りながら、魅力あるまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。」と、九鬼さんは、これからも銀座六丁目町会が、銀座のままとともに歩んでいくことを力強く語ってくれました。

「銀座六丁目小史」(上) 昭和20年代の町並み(下)



～中央区の企業の皆様へ～

町会では法人企業会員の方も募集しています

都心である「中央区」には、約4万1千の事業所に73万人の従業員が働いています。3月11日に起きた「東日本大震災」では、首都圏を中心に多くの帰宅困難者が発生しましたが、中央区においては、町会のご協力のもと2千人を超える人々を、19の防災拠点において受け入れました。町会は、日頃から地域の活性化とともに、行政と連携して防災・防犯活動など安全で安心して暮らせるまちづくりにも貢献されています。



法人企業においても、町会との連携を深め、地域間での協力体制を築いておくことが大切です。また、盆おどりや餅つきなど、町会が主催するさまざまなイベントに参加することができ、日中多くの時間を過ごす地域の方との交流を図ることもできます。

ぜひ、町会未加入の企業の方は、これを機会に加入しましょう！皆さんの事業所がどこの町会エリアに属しているかなど、町会に関する詳しい情報は、3面下段の「町会・自治会ネット」でもご覧いただけます。

日本橋
地域

まちの想いを込めた町会活動

人形町二丁目浪花会 会長 戸塚建三さん



人形町二丁目浪花会の「浪花」は旧町名で、明治四年に難波町と難波町裏河岸が合併し浪花町と改称したことに由来しています。住民から名前を残したいとの要望があり、町会名に町の歴史が刻まれました。

「現在、町会にはマンションに居住するファミリー世帯が多く加入していますが、近隣の商店の経営者などの子どもたちが家庭を持ち、住み慣れたこのまちに戻ってくる例も多いです。彼らは幼い頃から町会のイベントで楽しんだ思い出があるので、祭りや行事に積極的に参加してくれます。また、自分の子どもたちにも同じような体験をさせたいと願う親心から、家族揃っての参加も多いです。町会活動では、子どもを対象にしたものが多数あり、まち全体で子どもを大切にしています。」と、会長の戸塚さんは、この地域ならではの魅力を語ります。

毎年恒例の「夏休み子どもゲーム大会」は、末廣神社前の通りを利用してゲームや模擬店などを展開します。百円の参加用紙を

購入すると、数種類のゲームや各種模擬店を利用できて、お菓子の土産ももらえるとあって大盛況でした。今年は、青年部の発案による四メートル以上もある「孟宗竹」を使用した「流しラーメン」の模擬店が好評でした。

このほかにも、十二月の歳末警戒の初日に行われる「子ども火の用心」では、子どもたちが拍子木を打ちながら「マッチ一本火事の元！」と大声を張り上げて町内を回りま



夏休み子どもゲーム大会

祭りも災害訓練も
みんなで頑張る

「末廣神社の祭りでは、人形町二丁目二之部町会と力を合わせて神輿巡行を行います。昔は縁日には露店が出て賑わっていましたが、まちが様変わりしていく中で祭り離れも進んできました。お神楽の演奏で祭りのムードを出すなど、子どもたちには幼い頃から

ら地域の伝統に触れる機会を持たせてあげたいと思っています。」
浪花会では、青年部や婦人部も活発に活動していますが、特に婦人部は、幅広い年齢層で構成されていることで、さまざまな年代の方たちとコミュニケーションを図ることができ、同じ地域に顔見知りがいるという心強さと安心感に繋がっています。

毎年三月と九月に行われる防災訓練では、避難ルートの確認以外にもAEDを利用した心肺蘇生の手順を勉強したり、消火器を使った消火訓練を行うなど内容を適宜変えて実施しています。近年はマンションの増加に対応し、はしご車とポンプ車を使用した訓練も日本橋消防署の協力で行っています。

このような日ごろの町会活動や災害訓練の積み重ねによるコミュニケーションが、「浪花のまち」の地域力を高め、いざというときに力を発揮するでしょう。



はしご車を使用している災害訓練

～町会・自治会ネットをご利用ください～

中央区では、町会・自治会への新規会員の加入促進および町会・自治会同士の情報交換等の連携支援を目的とした「中央区町会・自治会ネット」を開設しています。

このホームページでは、町会・自治会に関する情報について、団体検索や情報検索機能により、

①各町会・自治会のプロフィール、②イベント案内、③活動報告、④名所名店情報、⑤加入のご案内などが閲覧できます。そのほかにも町会・自治会同士の連絡手段としての掲示板（会員のみ利用可能）や、地域に密着した行政情報などを掲載しています。

「中央区町会・自治会ネット」をまちの魅力を共有する一手段として、積極的にご活用ください。

URL <http://chokai-jichikai.genki365.net/>

ご質問やご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

【連絡先】 区民部地域振興課自治振興係 03-3546-5337

※中央区のホームページからもリンクがありますので、ご利用ください



島 月 地 域

国際色豊かな「タテ長屋」の町会
 佶リバーシティ町会 会長 山本浩三さん

「佶リバーシティ町会」は、佶地域のマンションのパークサイド・ウイングスとリバーポイントタワーの居住者のために平成七年に設立されました。

「良いまちには建物や環境のハード面と同じくらい、触れ合いや豊かなコミュニティづくりというソフトの部分が大切だと思います。国際都市東京の中心に位置しながらも佶田川や緑に恵まれ、江戸時代からの文化遺産も豊富な都市環境の中で、ユニークな町会活動を続けたいと考えています。」と、会長の山本さん。都心の大規模集合住宅であり、外国人の方も数多く住んでいるため、広報誌を日本語以外にも英語や韓国語で編集しポスティングするなど、全世界に情報が行き渡るように配慮しています。



多国語対応の町会広報誌



参加するなど、特に地域との関わりを大切にしています。また、さまざまな経歴や多彩な趣味を持つ町会員が多いことから、ユニークな経験談やお国自慢のクッキング教室、勉強会などのイベントも開催しています。「ミシュラン三星登山 高尾山へハイキング」や「マグロ鍋を囲みつつ築地の話を聞く会」などを通じて、海外の方達と異文化への相互理解を深めつつ、コミュニティライフを豊かに楽しんでいます。

町会を離れても
 O B 会 会 だ い つ ま で も

最近では、マンションの設立当初から入居している住民の高齢化も目立つようになり、個人のプライバシーといざというときの安全確保の折り合いをどう付けるかという集合住宅ならではの悩みや地域医療の充実などの課題が出てきました。町会では、このような町会員の意見をとりまとめ、解決に向けた話し合いや意見交換の場を作るなど、住み良い環境づくりを目指しています。

今年の三月十一日の東日本大震



マグロ鍋を囲みつつ築地の話を聞く会



ミシュラン三星登山 高尾山へハイキング

災以後、町会では高層住宅における災害時への対応策を大幅に見直しました。毎年の防災訓練はもちろんのこと、今後は、区の防災課の協力を得て災害に対する講習会を行う予定です。また、「町会に加入しているということがセーフティネットになっている」という声も多く寄せられており、あらためて住民に町会への積極的な参加を呼びかけています。

「縦に長いマンションですが、横にしてみれば江戸時代の長屋と変わらない」と言います。これは、江戸時代の長屋暮らしのように現代の集合住宅がタテ長屋であるという発想で、住民が協力し助け合って生活するのが理想です。引越して転出した方たちが町会のOB会を結成し、今でもお花見などの行事に顔を出してくれるのは、ここで生まれた縁を大切にしている良い例だと思えます。」と、山本さん。

美しい都市の景観と水辺の潤いを備えた環境の中で、これからも町会を通じたヒューマンコミュニティの輪が広がっていくことでしよう。

コミュニティふれあい銭湯

中央区では、コミュニティふれあい銭湯として毎月第2・第4金曜日に一人100円（敬老入浴証持参者および小学生以下は無料）で銭湯の湯をお楽しみいただけます。みなさんのご利用をお待ちしています。平成23年度の後期は、下記の日程となっています。

開設日	時間	各浴場営業時間
10月14日(金) ※30日(日) (28日(金)は実施しません)	場 所	中央区内公衆浴場(銭湯) 10浴場
11月11日(金) 25日(金)	対象者	中央区内在住・在勤者
12月9日(金) 23日(祝)	入浴料金	一人100円 ※ただし、敬老入浴証持参者および小学生以下は無料
1月13日(金) 27日(金)		
2月10日(金) 24日(金)		
3月9日(金) 23日(金)		



【問い合わせ先】

区民部地域振興課区民施設係 03-3546-5623

※第2金曜日は、季節にちなんだ趣向で浴場を飾ります。